

10. 運輸サービス 部会

和田 亮 部会長

10. Departamento de Transportes e Serviços

Presidente: Ryo Wada



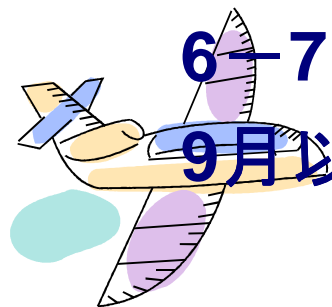
運輸サービス業界

2008年の回顧と2009年の展望

2009.02.17

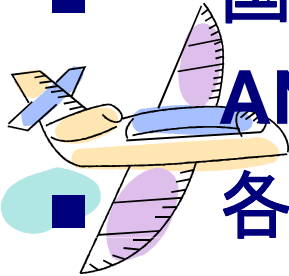
航空業界 – 2008年の回顧

- 国内線 総需要49,213千人(+5.9%)
TAM 49.2% GOL+VARIG 44.8% その他6.0%
- 国際線 総需要14,116千人(+4.7%)
TAM 69.5% GOL+VARIG 21.6% その他8.9%
- 燃油費:金融危機以降 急降下、12月には2005年
前半の水準
- 日本発ブラジル向け渡航者動向
6-7月がピーク。(100周年)
9月以降は在日ブラジル人の帰国増



航空業界 – 2009年の展望

- 国内線・国際線需要ともに不透明



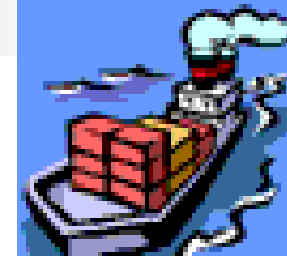
ANACは09年国内線需要想定を下方修正！

- 各国航空会社は抜本的な改革！

就航路線・路便数・人員削減など……

- 日本市場では、日本発ブラジル人失業者の帰還は2009年前半まで継続すると想定されている。

海運業界 – 2008年の回顧(1/2)



<第三四半期まで>

- 強いリアル通貨が、トレードのインバランスを加速
- 不定期船市況が高騰
- 燃料油価格の暴騰
- インフラ未整備で各船社スケジュール維持に苦慮

海運業界 – 2008年の回顧(2/2)



<第四四半期>

- 不定期船(鉄鉱石)→金融危機以降急減

ケープサイズバルカー(18–30万トンクラス)の傭船料(一日当り USD27万超 → USD1万以下)

- インフラ未整備も幾分解消？

- その他

11月のSC州の水害→Itajai港に大型船入港できず
甚大な影響

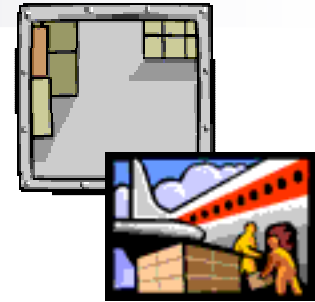
海運業界 – 2009年の展望



- 定期船・不定期船市況 → 各産業の動向にかかる
鉄鉱石船 → 一時の底打ちからは回復

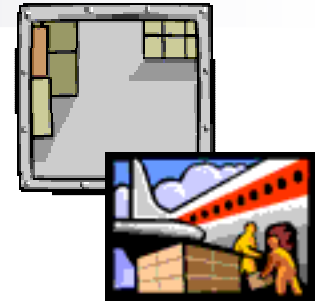
- 海運各社の動向
 - ✓ 老齡船のスクラップ促進
 - ✓ 新造船投資の見直し
 - ✓ 各定期船サービス網の見直し・調整

フォワーダー業界 - 2008年の回顧



- 日本発ブラジル向け航空貨物の動向
約18,000トン(25%増)→11月より 減少
- 税関ストライキにより大混乱
- SISCARGA導入で遅延発生→安定化
- ロジスティック(製鉄構内物流)
10月以降 減産で作業量は30%減
- 原油価格高騰は航空貨物の運賃を押し上げ
- サンパウロ市のトラック走行規制が始まる

フォワーダー業界 - 2009年の展望



- 航空会社各社の便数減、機材ダウングレードによるスペース減が見込まれる
- 設備輸入が減少傾向
- ロジスティック(構内物流)は企業の減産で大幅受注減

旅行・ホテル業界 – 2008年の回顧



- 海外旅行→レアル安で航空運賃高騰
- 国内旅行→大手パッケージ会社も苦戦
- ホテル客室稼働率は前年超え(67%→68.5%)
- レジャー地のホテル稼働率がアップ特にリオデジャネイロから北伯地方にかけて70%以上の稼働率を示す。

旅行・ホテル業界 – 2009年の展望



- Carnavalまでは例年通り
ローシーズン→以降は見通せず。
- 国内リゾート地の稼働は伸張？
ブラジル人も安近短？
- 都市型ホテル→日帰り出張・インターネット会議の
増加により利用減→勉強会・コンベンションでの
利用が増

通信、IT業界 – 2008年の回顧



- 携帯電話加入者数 1億5064万台(世界5位)
- 3G携帯: 281万台(市場の1.5%)
- ナンバーポータビリティ(Jan/09): 19万1千台
- 固定電話加入者数(Dec/09): 4, 109万台
- インターネットユーザー数: 4, 409万人
- ブロードバンドユーザー数: 987万台
- 国内PC販売台数1200万台(対前年 20%増)
- NOTA FISCALの電子化(ICMS税)9365万枚発行を実現

通信、IT業界 – 2009年の展望



2009年のトレンドは、

- CO2削減→ Green IT
- 3G携帯の利用が増大！



ご清聴ありがとうございました